

2017年(平成29年)12月19日(火曜日)

「地元理解が不十分」  
知事が見直し求める

三島駅南口再開発

三島市がJR三島駅南口東街区で計画している再開発事業について、川勝平太知事は十八日の記者会見で「地下水への影響や富士山の眺望が阻害されると心配する声を聞く。地元理解が十分ではないと危惧している」と懸念を示した。

三島市は現在、事業者を募集しているが、川勝知事は「延期などいろんなやり方がある」と述べ、市が計画を見直すよう示唆した。県は市の再開発事業を審査する権限があり、許認可権を持つ知事が市の事業に「待った」をかけた形だ。

三島市が提示した再開発事業のモデル案によると、JR三島駅南口東街区の市有地と民有地の計一・三畝に高層マンションや駐車場、診療所やスポーツジム

が入居した商業施設を整備する。現在は市が事業者を公募している。

(沢田佳孝)